市政に関する一般質問

今定例会では、１８名の議員が一般質問を行いました。

会派名　議員氏名

一般質問の表題　質問の順番

問　（質問の要約）

答　答弁者
※（質問の要約）

質問　通告事項の要約

（答弁の要約）
※印の付いた答弁は複数の答弁者の発言をまとめたものです。

会議録の閲覧

【今定例会の会議録】
議会ホームページ、または図書館等で８月下旬頃から閲覧できます。

【閲覧場所】
図書館／市民センター／議会事務局／情報公開窓口（東庁舎）

無所属の会　小林　薫　1

体育館建設計画について

問　市立体育館の建設の市民要望は多い。埼玉県から購入した宮元町地内の保健所跡地における今後の建設計画は？

答　市長　他の運動施設の老朽化などの緊急の課題から優先的に取り組んでいることから、事業の実施時期を調整している。

平成28年度には、当該用地における周辺交通量等の影響調査を実施したところであり、さらに、今年度は地質調査を実施する予定となっているので、今後は、調査結果の精査を進めていきたい。

質問　業者から得た情報

質問　公共施設建設

立憲・民進党　片野広隆　2

がん教育の充実にむけて

問　次期学習指導要領にがんを取り扱うことが明記された。生徒に正しい知識を身に付けさせる「がん教育」の充実にむけた教育委員会の取り組みは。

答　教育長※　今年度、まずは関係機関、専門医と連携し「がん教育」啓発のためのリーフレットを作成する。また、中学校保健体育科・保健分野「生活習慣病などの予防」にて、各校における「がん教育」をテーマにした講演会や授業研究会を実施し、教員への研修を計画している。さらに、関係課と連携し、がん専門医等の外部講師を招いた「がん教育」実施を検討するなど、各学校の実情、子どもの状況に配慮しながら実施していきたい。

質問　学習指導要領改訂

質問　統一地方選への取組み

やまぶき会　小高浩行　3

川越市における農業の課題

問　米の作付け生産調整の廃止や生産緑地として30年間の期限を迎える都市農地問題、人手不足の深刻化などの中で、本市における農業の課題は何か。

答　産業観光部長　10年間で30％以上減少した担い手の不足と高齢化、耕作放棄地の増加は大きな課題であり、地域の農業が持続可能なものとなるよう、人・農地プランの策定、埼玉型ほ場整備事業、農地中間管理事業、集落営農やその法人化などの取り組みを推進している。

今後は、市内での流通経路の構築や農業者への情報伝達の充実に努めていくとともに、平成31年度を始期とする次期川越市農業振興計画で、次の世代の農業に向けた施策を検討していく。

質問　持続可能な農業の取組

公明党　桐野　忠　4

今後の学校防災・安全対策

問　学校の責任が問われた石巻市立大川小学校控訴審や新潟女児殺害事件を受け、学校の防災・安全対策をどう見直していくのか伺いたい。

答　教育長　教育委員会としては、子どもたちの命を守るという責任の重さを改めて認識し、現在行われている防災や安全の取り組みについて、専門家も加えたマニュアル、訓練、教員研修等の見直しを行う必要があると考える。学校だけでなく、地域の子どもは地域で守るという考えも大切であり、情報を共有しながら、教育委員会が主体となり、さまざまな組織が協力して、児童生徒の安心・安全の確保に取り組んでいく。

質問　学校の防災・安全対策

質問　脳ドック検診

公明党　中村文明　5

利用しやすい交流サロンを

問　新たに利用しやすい交流サロンを川越駅周辺に設置してほしいとの要望があるが、交流サロンの設置を望む市民ニーズに対しての市の考えは。

答　総合政策部長　利便性の高い駅前などの公共施設における自由に交流を図ることができるスペースは、にぎわいや活気あるまちづくりを支える場所であると認識している。

こうしたことから、現在進めている川越駅西口市有地利活用事業における行政フロアに、市民に使ってもらえる交流スペースを設置する予定である。

質問　学校教育の諸課題

質問　交流サロン